

## 元道祖本保育所三者協議会（第7回）会議録

### 1 日 時

平成27年5月23日（土） 午後1時30分から

### 2 場 所

私立さいのもと保育園

### 3 出席者

- ・ 道祖本保育所保護者 3人
- ・ 社会福祉法人 とよかわ福祉会 理事長 園長
- ・ 保育幼稚園課 中井課長、瀧川参事、北川保育指導主事、千葉副主幹

### 4 案件

- (1) 引継保育の実施状況等について
- (2) その他

### 5 発言要旨

( 市 ) 改めまして皆様、こんにちは。

本日は、公・私、何かとお忙しいところ、懇談もあり、いろいろあったかと思うのですが、三者協議会にご出席いただきましてありがとうございます。

ご挨拶がおくれましたけれども、この4月の人事異動で前任の小西の後任ということで民営化担当を拝命しました瀧川です。よろしく申し上げます。

まだまだ不慣れで行き届かないところがあるかと思っておりますけれども、前任者同様ご指導、ご協力をいただけたらと思っておりますのでよろしく願います。

そうしましたら、早速ですけれども、これより第7回 元茨木市立道祖本保育所三者協議会を開催いたします。

それでは、これより議事進行については、三者協議会の議長であります、中井保育幼稚園課長から申し上げます。よろしく申し上げます。

( 市 ) 改めまして皆さん、こんにちは。

それでは早速ですけれども、会議次第に従いまして進めさせてい

ただきたいと思います。

まず案件の1つ目「引継保育の実施状況等について」ということ  
でございます。

4月1日以降、民営されまして、その後の引き継ぎの状況につい  
て、まず千葉副主幹のほうからご説明をお願いしたいというように  
思います。

( 市 ) 4月から約2カ月がたちまして、引継保育士として私と看護師の  
M先生と、乳児保育士はH先生、幼児保育士のほうでK先生とS先  
生が引き継ぎとして4月からもう2カ月がたちました。H保育士は  
主に0歳、ときに1歳に入っていたり、私がちょっと2歳の  
ほうに入らせていただいたり、S先生はたいようホームを主に、K  
先生がそらホームを主にという形で、時々うみホームも見ながらと  
いう形で入らせてもらっています。

4月は新しい環境とかで子どもたちもやはりなかなか入れない  
ところで、新しいスタートというところでは、私たちも保育室に入ら  
せてもらいながら、手伝いをさせてもらいながら、ちょっと気にな  
るところを声をかけさせてもらいながらということでスタートして  
きました。

初めはやはり引継保育士のほうに子どもたちも来ていたのですけ  
れども、今はやはり担任の先生のほうに子どもたちも「先生」と行  
くようになりまして、私たちも少しずつ子どもたちが自由に遊んで  
いる時間とかはちょっと保育室のほうから抜けて、今はもう蚊が発  
生してくる時期なので、木を剪定したり草を抜いたりとかというよ  
うなこともさせてもらいながら今を過ごしているというような状態  
です。

そのほかに、テントを張ったりだとか、セアカゴケグモの対処が  
必要になってくる時期なので、園長先生と主任先生と一緒に引継保  
育士がこの時期にこんなことをしていたよということも含めながら、  
今、進めさせてもらっているような状況です。

以上です。

( 市 ) ありがとうございます。

それでは、法人さんのほう、園長のほうから報告をお願いします。

(法 人) わかりました。お疲れさまです。

今、千葉副主幹からあったような形で入ってもらっているのです  
けれども、まず0歳児、チューリップのほうにつきましては、今、  
言いましたようにH先生に主にずっと入っていただいて、0歳児と

しての生活のつくり方、それから子どもへのかかわり方というものを丁寧に指導していただいて、本当に担任4人なのですが、もともと臨時職員としていた職員2人が担任をしていますので、新しい職員2人と担任4人が比較的早く生活の流れをつくっていくことができましたし、子どもとの関係も非常に愛着関係、信頼関係が今、少しできているところです。

1歳児につきましては、本来、引き継ぎの乳児の先生については、子どもとか保護者の方の不安解消のために1歳、2歳に入っていたくほうがいいのかなというふうに私は思っていたのですが、千葉副主幹の配慮でやはり新しいうちの職員との子どもとの信頼関係を早く築くためには、そこに引き継ぎの先生が入るよりもいいだろうということで、法人のほうで1歳児の担任は4人なのですがフリーの保育士を主に応援という形でつけて子どもとの関係もつくりながら、生活の流れも作りながらということで、1歳児さん、特にやはり元の担任を追ったりとか、合同保育に入っていたR先生、I保育士を追ったりといったような姿があったのですが、今ようやく子どもたちの1歳の自分たちの先生はこの人だということがわかってきて、すごく関係もできつつあるところです。あと、また保育のやり方については、1歳児担任4人でもっと、私も含めてですけれども、相談していきながらもっと円滑に保育が進んでいくようにというふうに思っているところです。

2歳児については、2グループのうちの、ぞうグループのほうはほぼ生活のリズムがついてきておりまして、今の担任2人で保育がスムーズにしているところなのです。きりんグループのほうも、どうしても保護者を求めて泣く子が今もいますので、千葉副主幹のほうが必要、要所で応援に入っていたり、私のほうで本当に、特に給食から午睡時にかけて不安がる子どもさんがいるので、私のほうと一緒にその子と一緒に過ごしたりというような形で進めているところです。

幼児のほうは、先ほどありましたように主にたいようホームとそらホームに最初のころは入っていただいて、生活の流れとかセンター活動についてとか、年齢別の活動についてということの指導なんかをしてもらって、もう今はほぼ担任のほうだけでいける状態かなというところではあるのですが、この間、職員会議でやはりもう少し、本当にちょっとしたところで給食後のお掃除をしてくれたりとかしてくれているのです。そういったところは非常に助かっている

というようなことを担任のほうから聞いています。本当に今は要所要所のところで何かこれも負担となっていることがあったとか、子どもに対してのかかわりで何かうちの担任のほうで何か気になるようなことがあれば指導してもらっているといったような形です。

全体でいいますと、引き継ぎの先生たちが見られていて気がつかれたことというのをお昼に会議をされていますので、園長に伝えていただくことについては副主幹のほうから私のほうにということまで伝えてもらって、必要なことはまた私のほうから職員に返すというようなことで進んでいます。

そんな感じですか。

(市) はい、ありがとうございます。

今、市の副主幹のほうからと、それから園長のほうからご報告をさせていただきました。この引き継ぎ保育の関係でご質問なりお伺いしたい点等がございましたら承りたいと思いますがいかがでしょうか。

特によろしいでしょうか。

(市) それでは、案件の2つ目で「その他」ということになります。

これはどうさせてもらったらいいですか。

(保護者) 案件のことで連絡するのがちょっと遅くなってしまったので、こちらに書いていただいているのではありませんけれど。

(市) ああ、そうですね。はい。

(保護者) 何点かあるので、よろしいですか。

(市) はい、どうぞ。

(保護者) 1つ目なのですが、夏の行事が、一番近くて夏の行事が納涼会と、あと年長さん、ゆり組さんの1泊キャンプとかあるので、その保育園のかかわりというか、先生がどう対応してくれるのか、そういうところをお聞きしたかったのですが、納涼会の中で納涼会の担当の方がいるのでちょっと聞いてみたのですが、もう去年と同じやり方でプロジェクトが動いているように聞いていますので、今回はいいかなというのは思っているのですが、もし来年度からのやり方について質問させてもらってもいいですか。

(法人) 質問はいくらでもしてください。

(保護者) 今年は同じようなやり方なので、来年度からということなのですが、今までどおりというのはここで、グラウンドですのと室内でお店を何個かというふうにあって、担当の保育士が2人でしたっけ、納涼会の。

( 市 ) はい。

(保護者) 先生2人にかかわってもらって、先生たちの出しものが1つあってというやり方だったのですけれど、結構、役員の人数が、人数的には多いのですけれど、参加されるプロジェクトの人がなかなかなくて、集まらなくて結構大変な思いをしている保護者のほうは結構大変というのが毎年あるのです。もしできれば、先生のほうでもう少しお手伝いしていただけたらなというのがありますので、検討していただけたらなと思っています。

(法 人) 保育士もお手伝い。

(保護者) そうですね、はい。

また事前にアンケートとかも、保護者に向けてのアンケートもとりたいたなと思っているので、また後にまとめたものをお渡しするようになります。

1泊キャンプなのですけれど、今までは保育所内で1泊、保育所の施設を使えないという決まりがあったので銭原のほうに出たりとか、全く先生がかかわっていないところで保護者と子どもだけのキャンプだったんです。何年か前まではこの所庭を使ってキャンプファイヤーをしたりできたのですけれど、それもできなくなってしまった今はやはり、せっかく保育園の先生というのがあるので、保育園内で1泊できたらなという思いがあります。せっかく私立になったので、その私立のいいところを生かしていただきたいなというのが保護者の思いとしてあります。

行事のことは以上です。

次なのですけれど、駐車場、第2グラウンドは今、駐車場にさせていただいてすごくありがたいのですが、1回、お迎え、4時過ぎにお迎えに来た保護者が、門が開いていないことがあったというのを耳にしています。やはりお迎えに来て開いていないというのがちょっとあるので、時間だけ守っていただきたいというのが1点です。いつというのがわからないのですけれど。

(法 人) 4時半からなのです。

(保護者) 4時半から。保護者のほうが勘違いしているということですね。

(法 人) されている。ただ、雨の場合とかは結構多くて、4時過ぎでも多かったです。坂の途中でとめてしまわれたりすることもあるので、もう開いていますので入れてください、というような形で、あまり第2グラウンドのほうで子どもたちは遊ばないので、もう使っていなかったら4時過ぎからでも入れてくださいというような形

で言ったりはしています。

(保護者) ありがとうございます。

済みません。私、駐車場を使わないもので、ちゃんと時間が把握できていなかったです。済みませんでした。

(法人) 朝、9時15分まで。7時から9時15分までで、夕方は一応4時半から最後までというふうにはしているのですけれども、4時過ぎでもういっぱいになってきたら、子どもがそこで遊んでいなければもう入ってもらうという形をとっています。

ただ、一旦、例えば子どもが使わなかったりして9時15分であったり、お昼ぐらいに一旦閉めてもまたこちらが、また先ほどの話ですが、忘れてしまうことも、だめなのですからけれど忘れたら、というのもあるので、開けたままにしておこうか閉めようかと今すごく悩みながらしているところです。

(保護者) はい、わかりました。

(法人) 開いていなかったら、これはこちらが忘れていて門が開いていなかったらやはり一旦お閉めして開けてというまではなかなか保護者の方はしにくいと思いますので、開けたままにしておこうかなとも思ったりもしているのですけれども、いや、それだったら不安だ、ということもあるかなと思ったりしながらで、迷っているところです。

(保護者) はい、ありがとうございます。

最後なのですから、非常に言いにくいことなのですから、ある保護者がたまたまお迎えに来たときに、1人の子どもが先生に叱られていたところを見ているのです。その先生の子どもへの対応がちょっと異常に厳しかったということで、その保護者は近くにいた保育士さんに「いつもああいう対応をするのですか」と聞いたそうです。そうしたら、その先生は「先生によるのですけれどね」と言って、その後は言葉を濁したというか、その後、保護者はちょっと正直きつ過ぎませんか、その場で、直接ではないのです、怒った先生にではなくてその場にいた先生にはそういうふうには伝えたいなのですからけれども、その先生が、厳しい、その怒っていた先生に報告しているかどうかはちょっとわからないのですけれども、そういう声を聞いているので、その子どもへの対応といいますか、怒り方というのですか、私が見たわけではないのでどういう感じかわからなかったのですけれども、ちょっと感情的だったというふう聞いています。やはりそこだけを見ると保護者としてちょっと戸惑うところがあるのかなというのがある。

(法 人) 具体的な言葉とかというのは聞かれてないですか。

(保護者) そうですね。何かをこぼしたのを先生が拭きなさいとって、布巾を子どもに向かってではなくて机にぼんと置いたのがすごくきつかったというのを聞いているのですけれど。それ以上に詳しいことはちょっとわからなくて。

本当は今日、仕事がなければ来たいというのは言っていたのですが、どうしても来られなくてかわりに私がという形になってしまってます。

(法 人) この件に関しては私、聞いていないです。申しわけないです。後でまたお名前を教えていただけたら直接その職員にお話、確認をして、本当にそういうことで感情的になっていたのであれば指導したいなというふうに思いますし、先日、20日に職員会議があったのですが、実は私自身も子どもへのかかわり方で所々やはり職員の声のかけ方で気になるところもありましたので、職員会議全体の中ではあるのですが、お話をしたところでは、子どもを傷つけるような叱り方であったり、声のかけ方はしないということ、乳児でも本当に子どもへのかかわり方を丁寧にしていかないと、本当に引っぱりつかうとかというようなことも、私も見ているので、そのたびごとに注意をしたりとかということもしているのですけれども、この間は全体の中で話はさせてもらいました。

ただ、こういったことが実際に、先ほど言われたようなことがあれば、やはりその本人に直接話をするのが一番ですので、また教えてもらえたらなと思います。よろしくお願いします。

(保護者) ありがとうございます。

私からは以上です。

(法 人) 先ほどの納涼会については、もう昨年度どおりということで、千葉副主幹のほうから方法についても聞いていますので、そのとおりということでさせていただいて、また次年度からについては検討をさせていただきます。

1泊デイキャンプを、保育園を使うということはちょっとまた市のほうとの協議で検討ということにもありますので、5年間は行事については懇談会の中でも言っているのですけれども、公立のままを引き継ぐということを皆さんに伝えているところなのです。なので、またもちろん理事長も含めて相談はしていきたいなと思いますが、ちょっとすぐには結論は出せないかなと。

私自身は、やはり保育園は子どもさんが宿泊できる施設ではない

などというのはすごく私自身は設備的に感じているところではあるもので、何かいい方法があればというふうには思います。

理事長のほうから何かありますか。

(法 人) 保育所でそうしなくなった経緯というのは、どんな経緯なのか。

(市) 今、私もそのどういう経過があつてなくなったかというのは正直、詳細まで知りませんが、やはり今、中村園長がおっしゃったように保育園は、もともとが日中過ごすような施設ということで設備もそういう形になっています。その中で1泊保育は1泊保育の意義があつて公立は取り組んできたところがあると思うのですけれど、やはり費用の問題であつたりとか、それから設備的な問題、いろいろな問題が重なって、いろいろメリット、デメリットを検証した上で公立の場合は一旦中止という形でできています。民間園さんでされているようなところもあるかとは思いますが、ただ、今、現状、公立の施設をそのまままだ引き継いでいただいている状況ですので、この環境の部分でハードルがもしあつたのであれば、その環境が変わらない限りはなかなかしんどいところがあるかなというふうには思います。

それと、あと行事のところは、さいのもと保育園だけではないのですけれども、民営化した園でさまざまな取り組みをしてほしいとか希望が出てきます。そういう中で、ある保護者の1グループはしてほしい、1グループはちょっと待ってほしいというようなことにもなりますし、まず、こちらを引き継いでいただいて円滑に進めていただいているのですけれども、とはいえ保育士さんも法人さんも結構、今年度、1年終わるまでは1年のサイクルもわかりませんし、一生懸命している最中だと思つたのです。その最中でやはり市として思うのは、まずは公立はこういうふうにしてたよ、それを引き継いでいただく。その中でも引き継ぐだけでも大変だと思います。その中で、子どもたちのかかわりをふやしていただいて新しい保育士さん、新しい法人さんと子どもたちがよい関係になると。保護者も含めてですけれど。それを1年間は目指してほしいなというように思っています。

ですので、納涼会であつたり1泊キャンプであつたり、そういったお話をいただいていますけれども、それはやはり1年後なのか2年後なのか、少し実績を踏んだ後に検討していただくべきかなと、ちょっと行政のほうではそういうふうには思っています。

もちろん保護者会の皆さんと法人さんの環境が整って、いやいや、もう3年目からいくで、ということだったら、それは問題ないかと思えますけれども、ただ、それにしても料金がかかる部分についてはこの三者協議の中の協議事項になりますし、保育の内容が少し変わるということでしたら一旦ここで諮ってということになりますので、その点だけご承知おきいただければなというふうに思います。

( 市 ) ちょっと聞いているのは、公立のときもお泊まり保育はしていたのですけれども、夜間ずっと保育士なり看護師さんなりを配置しないといけないというところもありますし、ご飯を食べるのであればそれを保健所に届けられないといけないとかいろいろなことがあって、その人たちの時間外勤務とか費用とかということもあるのと負担というのがあるのです。保育所主催ですとなると保育所ですということなのですけれども、その中で保護者会と保育所と共催という形をとったりとかもしていたようなのですけれども、来られない子どもたちへの配慮というも確かに必要なところがあったようなのです。だから当日、体調が悪くて来られないという方はもちろんおられるかと思うのですけれども、最初から参加できない、もしくは参加させないような形があったとしたら、お泊りは、親御さんが行かせないよということがあったりとか、何らかの事情で参加できない、最初から参加できないということがわかっていると、それに向けていろいろなことを進めていくみたいなのです。お泊まりをするということについて前から準備をするということ、各歳児でしていくということになると、そこを参加できない子どもにとっては、どうせ僕、参加しないからいいやとか、私、参加できないからということになったりとか、後のフォローで楽しかったねという会話に参加できないとかということがあるので、しなくなっていった部分というのがあって、今は大体その保護者会主催でしておられて、保護者会主催ということはこの施設、当然、保育士さんとか看護師のほうが十分なだけの体制をとるというわけではありませんので、施設のほうは使わずに忍頂寺へ行かれたりとかキャンプ場へ行かれたりとかという形でしておられるというふうに聞いているのですけれど。

(法 人) 去年まで、参加、どれぐらいの参加、皆さん。

(保護者) ほぼ、私の娘、息子のときはほぼ全員の参加だったのです。

(法 人) ほかの年齢とかは。もう年齢は限ってしているわけ。この年齢でとか。

- (保護者) 年長。
- (市) 年長さん。
- (法人) 年長さんだけでね。
- (保護者) はい。年長の保護者のその役員さん、1泊保育担当の役員さんが日にちであったり時期であったり全部決めてもらって、それで申し込みとかとったりとかも。その年によって参加率は違うかもしれませんが、結構な参加率だったと思います。
- (保護者) ことはもう去年どおりですずっと準備を進めているので、参加は多分、皆さんできる人は参加したいと言っているのですけれども、ちょっと1泊は難しいので1日目だけ参加だとか、夜には帰りますというところもあって、保護者側としても急に保育園を使いたいとかそういうことではなくて、ちょっと保育園側のほうから少し何かちょっと先生、担任の先生だけでもちょっと参加していただきたいとか、そういう声が出ているのはあるのです。変えてほしいということでもないです。
- (市) 施設を使わなくなったというのは、そういう経緯がちょっとあって、どんどん使わなくなっていっているところなのです。
- (保護者) はい。それも保護者側としても事情もわかりますし、土曜日、大体、土日でするので、土曜日、ここでももちろん保育をされているお子さんたちもいるわけですので、その中で準備を無理やり進めるというのも難しいと思うので、その辺も理解しているのですけれども。
- (市) ことは例年どおりということであれば、それを一旦見ていただいた上で判断していただいて相談していただくこともできるかと思うのですけれど。
- (保護者) 別の場所で開催するにしても、担任の先生だけでもちょっと参加していただいて、親子と先生と交流を深めるという機会もなかなかないと思うので、そういう場があってもいいのではないかなと思います。
- (法人) どういう形で、もし参加させていただくとして、どういう形で参加させていただくかですね。
- (市) そうですね。
- (法人) 法人として責任を持って対応しますよということになれば、いろいろな課題があると思う。例えば、1つは労働の時間、月に何日か決まっていますから土日で1泊で出てもらおうとなると、今、週に2日だけれど代休をとらなければならないと。そうした場合、その日に休んでいただいたときに、じゃあ保育士が減るわけだから、それ

をどう補完するかという、その日だけ来てくれますかという保育士もいないし、というようなこともあるし、ボランティアで勝手に行ってくれと言ったら、それはまた無責任な話だからね。いろいろあるかな。

( 市 ) もちろん、どこでどういう形でするかということと、今、理事長がおっしゃったように法人の体制として、ここの保育所の運営に支障が来すような形での取り組みというのはちょっと難しいですので、ここの運営が安定的に行われる条件の中でどういう協力ができるかということは一回、今年度ではありませんので、少し時間がありますので、その時間をかけて検討してみてもどうかかなというようにちょっと思いますけれども。

実際に、例えば宿泊でなくても何か少し話に聞いたら、デイキャンプみたいなものがあるって、何時間の間だけ来てもらってみたいなのがあったりとか、そういう形でとれるのかとれないのか、それも今、現状、なかなか保育士さんの不足というのは多分ご存じだと思いますけれども、どこの法人さん、私どももそうですけれども、もう全国的な課題になっていますので、今おっしゃってもらった手当はした、したらそこへ代替をまた、張りつけていけないとダメと。その辺のところ非常にタイトな状況があるので、その辺の兼ね合いも見ながらということになると思いますけれども。

(法 人) すぐ結論は出ませんね、これは。

( 市 ) そうですね。

一応、そういうことができたらいいなというご意見をいただいて、今後の課題ということでちょっと検討なり研究なりするということによろしいですか。

( 市 ) 多分、細かい打ち合わせというのも必要だと思うのです。法人さんがどこまでできるのか、保護者さんはどこまで望まれているのかとかいうところで、折り合いとか話し合いというのも必要だと思うので、それは二者でしていただいて、そのある程度の結論があるところで三者協議という形で上げていただいても結構かと思いますので。

(法 人) 先ほどありましたけれど、前提としてやはり子どもが全員参加する、最初からやはり参加できない家庭がある中で一緒に職員が行って、参加して一緒にすることについては、やはりその子どもの気持ちを考えるといいのではないかなというような、そこは私が感じているところです。

( 市 ) そういったところをいろいろ踏まえて、公立でしていたものをど  
んどん保護者会主催という形になっていったという、そういう経緯  
があるのです。

( 市 ) その件は、それで一旦よろしいですか。継続させてもらうという  
ことで。

そうしたら、そのほかに何かございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは以上で、本日の案件全て終了をいたしました。

本日の三者協議会をこれにて終了させていただきます。本日はお  
忙しい中ありがとうございました。

(保護者) 次回はいつ。

(法 人) 次、いつでした。

( 市 ) 次は6月27日ですかね。

( 市 ) これは朝から。9時からということで。

(保護者) 9時からですね、はい。

( 市 ) どうもありがとうございました。

—了—